

廿日市市図書館基本計画（素案）

令和 年 月

はつかいち市民図書館

【目次】

第1章 計画策定に当たって

1 策定の趣旨	2
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3

第2章 廿日市市図書館の現状と課題

1 廿日市市図書館の特徴	4
2 廿日市市図書館の概要	5
3 意識調査の傾向	6
4 はつかいち市民図書館協議会の意見	8

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念	9
2 基本方針	9

第4章 図書館サービスの展開

1 すべての人の居場所としての図書館	10
2 地域の「情報ステーション」としての図書館	12
3 考える市民を育てる図書館	15
4 コミュニティの中核となる図書館	18
5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館	21

第5章 推進体制

1 基本計画推進のための役割分担と環境整備	23
2 計画の推進、点検、評価	26

参考

1 廿日市市図書館の設置目的と方針	27
2 サービスの現状	29
3 意識調査	33

第1章 計画策定に当たって

1 策定の趣旨

本市には、図書館が3館あり、平成27年には、はつかいち市民大野図書館（以下、「大野図書館」という。）が開館20周年を迎え、平成29年には、はつかいち市民図書館が開館20周年、はつかいち市民さいき図書館（以下、「さいき図書館」という。）が開館10周年を迎えました。大野図書館は、筏津地区公共施設再編事業基本計画による再整備を進めており、はつかいち市民図書館は、10年以内に施設の大規模改修の時期を迎えることとなります。また、市町村合併により市域の拡大があり、人口減少時代における公共施設再編計画も出されていることから、図書館についても改めて全市域の見直しを図る時期にきているといえます。本計画は、これまで、廿日市市の図書館が果たしてきた役割を確認し、他市との比較や各種アンケート結果も踏まえつつ、今後、10年間の図書館の在り方を明らかにすることを目的に策定しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、第6次廿日市市総合計画、第2期廿日市市教育振興基本計画、廿日市市子ども読書推進計画（第2次）を上位計画とし、図書館運営に関する内容を具体化して整理した計画とします。

第6次廿日市市総合計画

基本理念 挑戦！豊かさと活力あるまち はつかいち

～夢と希望をもって世界へ～

方向性2-3「未来を担う人づくり」

第2期廿日市市教育振興基本計画

基本理念「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり
基本目標2「自ら学び、学びにより人と人がつながり、まちづくりに寄与する教育の推進」

廿日市市子ども読書推進計画（第2次）

目標 廿日市市の子どもたちは不読率0

3 計画期間

計画の期間は、令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までの10年間とします。

年度	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
図書館基本計画	本計画										
図書館システム	更新					更新					更新
後津公共施設再編整備基本計画	方針	設計～工事			供用開始						
総合計画	第6次前期		第6次後期				第7次				
教育振興基本計画	第2期		第3期				第4期				
子どもの読書活動推進計画	第2次		第3次				第4次				

第2章 廿日市市図書館の現状と課題

1 廿日市市図書館の特徴

廿日市市には、廿日市地域、大野地域、佐伯地域に、各1館の図書館があります。いずれも、他の公共施設との複合施設であったり、敷地が隣接していたりと、他の施設との連携を図りやすい利点を備えています。3館とも、立地適正化計画において地域拠点（都市機能誘導地域）に位置しています。

また、大野図書館を拠点として活動している移動図書館車は、廿日市地域、大野地域、佐伯地域、吉和地域を巡回し、地理的に図書館から離れている地域の方々に図書館サービスを提供しています。また、移動図書館車は、保育園への巡回による子育て支援の役割も担っています。島しょ部である宮島地域には、市民センターへの団体貸出しを通して、図書館サービスを提供しています。

図書館システムの中核を担うはつかいち市民図書館、全市域へのサービス展開のための物流拠点となっている大野図書館、中山間地域振興の一翼を担うさいき図書館と、各館の役割分担も明確です。

平成30年度実績（H31.3.31現在）

項目	はつかいち市民図書館	大野図書館	さいき図書館	全体
蔵書数（冊）	249,192	155,648	43,431	448,271
登録者数（人）	—	—	—	92,935
個人貸出（冊）	479,204	131,445	38,644	649,293
登録団体数	115	92	13	220
団体貸出（冊）	12,496	18,472	3,671	34,639
固有の業務	統括及び図書館情報システムの一括管理	移動図書館車運行	中山間地域振興	—

2 廿日市市図書館の概要

貸出し上位館のうち、本市と同規模自治体との比較は次のとおりです。

平成30年度図書館統計（H30.4.1現在。平成29年度実績値）

	廿日市市	貸出し上位の公立図書館整備状況※	
		～10万人	～15万人
人口（人）	117,585	89,118.0	126,644.7
図書館数（館）	3	3.3	3.0
図書館専有の延べ床面積（㎡）	4,020.03	5,074.3	6,230.9
自動車図書館台数（台）	1	0.5	0.8
専任職員数（人）	8	9.4	15.5
うち司書（人）	3	4.4	9.5
司書率（％）	37.5	47.0	61.2
非常勤・臨時職員数（人）	28	15.4	29.3
うち司書（人）	17.8	9.2	13.1
委託・派遣職員数（人）	0	15.0	16.1
うち司書（人）	0	11.1	12.1
蔵書冊数（冊）	442,254	484,513.9	612,510.3
うち開架冊数（冊）	226,347	309,627.7	279,224.6
図書年間購入冊数（冊）	10,223	14,715.1	21,349.6
雑誌年間購入種数（種）	281	332.0	444.5
新聞年間購入種数（種）	32	38.3	40.6
登録者数（人）	90,885	42,510.7	76,728.8
貸出し点数（点）	652,441	972,920.7	1,356,720.9
人口当貸出し点数（点）	5.5	10.9	10.6
予約件数（件）	93,210	101,943.4	213,045.8
図書館費（経常費）（千円）	106,534	156,594.7	202,556.1
資料費（臨時含む）（千円）	23,878	31,268.4	46,808.5
うち図書費（千円）	19,145	22,366.3	35,965.2
うち雑誌新聞費（千円）	4,275	5,377.3	6,877.9
うち視聴覚費（千円）	458	1,980.0	1,219.5
人口当資料費（円）	203.0	352.5	350.4

※各人口段階の貸出し密度（住民一人当たりの貸出し資料数）上位10%の市町村の平均値。政令指定都市、特別区は除く。『日本の図書館—統計と名簿—2018』による。

3 意識調査の傾向

平成30年から令和元年（平成31年）にかけて、図書館利用者、市民センター利用者、未就学児の保護者、小学生の保護者、小・中学生、市職員を対象にそれぞれアンケート調査を実施しました。

【図書館の利用】

今回アンケートに回答していただいた方の8割は図書館を利用していますが、市職員は6割、未就学児の保護者の場合は7割と、少し数字が下がっています。

【図書館を利用する目的（3つまで）】

図書館利用者の半数は「貸出し・返却」で、「新聞・雑誌の閲覧」「読書」を選択した人が1割程度います。

市民センター利用者の場合、「本を借りる」が圧倒的に多く、「調べ物」や「読書」がそれに続いています。

未就学児や小学生の保護者の場合は、ほとんどが「本を借りる」で、図書館での滞在時間は短いと推測されます。

小中学生の場合は、「本を借りる」「読書」「調べ物」の順になっています。

市職員は、「本を借りる」「新聞・雑誌の閲覧」「情報の収集」の順になっています。

【図書館ホームページの利用状況】

図書館利用者は36%、市職員は25%が利用しています。

上記以外の市民の方はいずれの層も、利用しているのは2割未満です。

【どんなサービスが充実したら利用したくなるか】

（1）図書館利用者

「資料の充実」が多く、「テーマに沿った展示や本の紹介」「大人向け行事」が続きます。自由記述では、「ゆったりと読書するスペースの拡大」「土・日・祝日も含めて開館時間を9時から19時にしてほしい」「貸出期間を3週間にしてほしい」「貸出冊数を10冊にほしい」などがありました。

(2) 市民センター利用者

「資料の充実」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」が多く、「子どもと保護者が楽しめる講座」「子ども連れで楽しめるスペース」「市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置」「自習できるスペースの設置」がそれに続きます。

(3) 未就学児の保護者

「子ども連れで楽しめるスペース」が圧倒的に多く、「子どもと保護者が楽しめる講座」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」の順になっていて、自由記述にも、子どもが声を出すことを気にせずに図書館でゆったり過ごせる専用のスペースを望む声が多くなっています。

(4) 小学生の保護者

「子ども連れで楽しめるスペース」が最も多く、「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」「資料の充実」「フリーWi-Fi スポットの設置」「自習できるスペースの設置」の順で、未就学児の保護者に比べて、より資料や情報へのアクセスの充実を望む傾向が強くなっています。

(5) 小中学生

「自習できるスペース」の設置が最も多く、「フリーWi-Fi スポットの設置」「年齢に応じたおすすめ本の紹介」「資料の充実」などがそれに続いています。

(6) 市職員

「資料の充実」が圧倒的に多く、「自習スペースの設置」「フリーWi-Fi スポットの設置」「憩いの場の提供」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」「市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置」が続きます。

(7) 自由記述から

利用者アンケートでは、資料についての充実を望む声が圧倒的に多くなっています。また、利用者同士の交流の場を望む声やボランティア活動への参加の希望などもありました。市民のアンケートでは、全体的に、周りに気兼ねなくゆったりと過ごせるスペースの拡大や、飲食スペース、マンガやボードゲーム、遊具など多様な使い方ができる図書館を望む声が多くなっています。貸出し・返却をより身近な施設でできる要望も出ています。

【ふさわしい基本理念は?】

いずれの対象でも、最も支持を集めたのは、「心地よく過ごせる場所へ行ってみたくい図書館、また行きたくなる図書館へ～」でした。

4 はつかいち市民図書館協議会の意見

はつかいち市民図書館協議会の委員から3回の会議で、意見を頂きました。

【会議開催日】

平成30年7月31日（火）

平成31年3月15日（金）

令和元年10月 1日（火）

【今後の取り組みについての主な意見】

- ・ 滞在スペースについては、近隣の他の施設と連携して確保してはどうか。
- ・ 親子連れでも気兼ねなく過ごせるスペースの確保が必要。
- ・ 多様なニーズに対応できるスペースの充実が必要。
- ・ 業務の自動化によって、相談業務に携われる司書を増やす。
- ・ 予約処理等の自動化を進める。
- ・ 資料やイベント、スタッフの充実など、予算の確保が必要。
- ・ ボランティアの発掘・活用をする。
- ・ 図書館に来てもらうきっかけとしてのイベントの充実を図る。
- ・ 全域サービスの視点を。特に遠隔地に図書館サービスを届ける取組をしてはどうか。
- ・ 返却できる場所の増設をしてはどうか。
- ・ インターネットで得られる情報提供の充実（商用データベース等）や電子書籍の導入を図る。
- ・ フリーWi-Fi やパソコン持込み席を設ける。
- ・ 市民を巻き込んで、図書館で情報をつくり発信をする取組をしてはどうか。（アーカイブの構築）
- ・ 「考える市民」を育てる取組をしてはどうか。
- ・ 行政支援サービスをアピールしてはどうか。
- ・ 複合施設を生かした健康寿命を延ばす取組をアピールする。

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念（10年後の図書館像）

廿日市市の図書館が、生涯学習を推進する社会教育施設として、また、地域の情報拠点として、人と本、人と人など、様々な「つながり」が生まれる場所となるよう、10年後の図書館像を設定します。

心地よく過ごせる場所

～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～

2 基本方針

基本理念を踏まえた上で、次の5つの基本方針を設定します。

- 1 すべての人の居場所としての図書館
- 2 地域の「情報ステーション」としての図書館
- 3 考える市民を育てる図書館
- 4 コミュニティの中核となる図書館
- 5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館

居場所を求めて立ち寄った人が、情報を得て、考え、行動を起こし、人やモノ・コトとつながっていく。豊かなコミュニティを形成していく。そんな皆さんのお役に立てる図書館でありたいと考えます。そのために、多様な情報へのアクセスができる環境整備を目指します。

第4章 図書館サービスの展開

1 すべての人の居場所としての図書館

(1) 現状

図書館は、多くの人が集う施設です。乳幼児から高齢者まで、様々な目的をもつ人々が訪れています。雑誌や新聞、インターネットの閲覧に始まり、資料の貸出し、複写サービスやレファレンスサービス（調査活動のお手伝い）を受ける人、調べ物や学習で利用する人、読み聞かせ等を楽しむ人など、世代を問わず多様な活動の姿が見られます。

このように、図書館は誰でも自由に出入りでき、安心安全に過ごせる居場所としての役割を求められています。

近年は、従来の読書を静かに楽しみたい利用者のみならず、乳幼児に読み聞かせをしたり、来館者同士でおしゃべりを楽しんだり、自習したり、くつろぎたい等、利用者のニーズが多様化してきています。また、障がいがある方も気兼ねなく図書館を利用できるよう、点字資料や音声資料、対面朗読サービスなどの充実も望まれています。

(2) 今後の方向性

施設のバリアフリー化やリニューアルなどの環境整備を進めるとともに、利用者が心地よく時間を過ごせる空間を生み出すサービスの実施に努めます。すべての人にとって気軽に訪れることができ、ゆったりと安らぎを得られる居心地の良い居場所としての図書館を目指します。そのために、多様なニーズに応じて滞在できる空間の確保や環境整備、サービスメニューの充実、職員の丁寧な対応に努めます。

(3) 取組の柱

ア 大野図書館のリニューアル

筏津地区公共施設再編整備基本計画の実施の中で、子どもと子育て支援に力を入れた全世代滞在型図書館を目指したリニューアルを実施します。既存の施設に加えて、子ども図書館のスペースを確保し、子どもたちが自由に使えるスペースと、静かに読書や自習をしたいスペースを分離します。

イ はつかいち市民図書館のリニューアル

ＡＶ機器コーナーを再編整備して、調べ学習のできる席や開架書架を増やします。

交流スペース確保のために、会議室を開放します。

ウ 多様なニーズに応じるための空間と時間の調整と職員の対応

くつろいで過ごせる空間や子ども連れでも気兼ねなく過ごせる空間や時間を生み出します。

利用者が心地よく過ごせるように配慮したお声がけの工夫など丁寧な対応をします。

エ 図書館のバリアフリー化とサービスメニューの充実

誰もが安心して図書館を利用できる対応を工夫します。

トイレの洋式化やバリアフリー化を進めます。

対面朗読サービス、大活字本、デイジー図書の提供など、障がい者サービスの充実と周知を図ります。

やさしい日本語を使用するなど多文化共生社会への対応をします。

(4) 成果指標・活動指標

指 標	現状（平成30年度）	目標値（令和11年度）
人口一人当たりの来館回数（3館合計）	4.3回	4.5回以上
利用者アンケートの満足度（職員の対応）	満足・やや満足の割合 92.1%	満足・やや満足の割合 93%以上

2 地域の「情報ステーション」としての図書館

(1) 現状

図書館では、書籍、新聞、雑誌、インターネット閲覧、視聴覚資料等を通して、様々な情報にアクセスできます。利用者の求めに応じて必要な情報を探すお手伝いをする司書もいます。新しい知識を得たいとき、困りごとを解決したいとき、身近にある心強いパートナー。それが図書館です。

図書館の蔵書を見渡すと、その地域の利用者のリクエストや歴史を反映し、司書と利用者が協働で作った資料が蓄積されていることがわかります。その膨大な資料の中から、利用者の求めに応じて速やかに必要な資料を準備できるシステムを備えているのも、図書館の強みです。

また、図書館はネットワークによって、他の地域の図書館ともつながっています。市内の他館の資料はもとより、他の市町や県外の図書館にある資料であっても、お住まいの地域の図書館を窓口として提供できます。図書館から離れている地域にお住まいの方や、来館が難しい方には、移動図書館車の運行や団体貸出しサービス、障がい者向けの郵送貸出しなどを実施しています。このように資料の活用を図り、市民に提供していくことが、地域の「情報ステーション」としての図書館の役割です。

I T C化が進み、情報を得る手段も多様化していますが、情報を得るのに対価が必要になるケースも多く、経済格差による情報格差を招く傾向が強くなっているのが現代社会です。そうした時代の中で、図書館は市民の知る自由を保障する機関として、必要な人に必要な情報を無償で届ける、情報のセーフティネットとしての役割を求められています。

さらに、図書館は行政情報の発信でもパートナーとして協力しています。行政資料を収集し、テーマに沿った資料と各種パンフレットなどの情報を一緒に置く展示は、市民の理解を深める手助けとなっています。

(2) 今後の方向性

市民の悩みや課題に寄り添い、解決に向けた支援のできる地域の「情報ステーション」を目指します。そのためには、市民のニーズにあった選書と計画的な除籍による資料の充実を図ると同時に、資料や情報を利用しやすい環境整備、遠隔地サービスやレファレンスサービスの充実と

それらの幅広い周知が求められます。また、行政サービスに役立つ資料をそろえるなど、市職員向けのレファレンスも充実させ、行政支援をします。

(3) 取組の柱

ア 資料の充実

書架に並ぶ資料の新陳代謝を図るために、計画的な購入と除籍を行い、蔵書新鮮度を高めます。

バランスの取れた資料構成となるよう、分野ごとの収集・除籍の基準を設けます。

視聴覚資料の計画的な更新を進めます。

郷土資料や専門資料（市内の世界遺産や病気・健康にかかわる情報、市民のチャレンジを応援する資料・情報など）の収集と関係機関との協力体制をつくり、必要な情報を利用者に届けられるような環境を整えます。

利用者が資料を手に取りやすいよう、配架や展示の工夫をします。

商用データベースやデジタル書籍を導入します。

貸出期間や貸出冊数の見直しを図ります。

イ 資料や情報を検索・予約しやすいシステムの導入と周知

館内や図書館ホームページ上で、利用者自身が資料の検索、予約、利用状況の把握ができるような機能を充実します。また、検索・予約システムの利用促進や課題解決につなげるために、広報活動の充実を図り、資料活用講習会を開催します。

ウ レファレンスの充実と相互貸借・障がい者向け郵送貸出しの周知

職員のレファレンスの力量を高めると同時に、レファレンス事例などを公開して、ニーズを発掘します。

図書館だよりや図書館ホームページ等で、県立図書館や公立図書館、大学図書館から資料の借受けができる相互貸借制度や障がい者向け郵送貸出し、資料のリクエスト受付の周知を図り、利用を増やします。

エ 図書館から離れた地域へお住まいの方へのサービスの提供

移動図書館車の巡回先の拡充や団体貸出しとあわせて、市民センターや学校の協力も得ながら、返却ポイント、予約本受取ポイントの増設

を検討します。

図書館だよりや広報はつかいちなどにより遠隔地サービスの周知を図ります。

オ 行政支援

市役所の各部署と連携して、行政情報を市民に届ける企画展示を実施します。この企画展示に合わせて、関連資料の収集、リスト作成、出張貸出しなどを実施し、行政情報を市民に届ける支援をします。

リクエストに応じて、行政の必要とする資料の収集をし、市職員へのレファレンスを充実します。

各部署から提供された資料を受け入れ、市民に提供することで、行政への理解促進に役立てます。

カ 広報活動

図書館だよりや広報はつかいち、図書館ホームページ、ツイッターなどを通して、図書館の利用促進につながる広報活動を継続します。

(4) 成果指標・活動指標

指 標	現状（平成30年度）	目標値（令和11年度）
人口一人当たりの蔵書冊数	3.8冊	4.0冊以上
人口百人当たり年間購入図書冊数	8.9冊	9.2冊以上
利用者アンケートの満足度（資料の充実）	満足・やや満足 72.9%	満足・やや満足 75%以上
予約件数	95,299件	100,000件以上

3 考える市民を育てる図書館

(1) 現状

読書の習慣は、変化の激しい現代を生き抜くための大きな手掛かりになります。言葉の力によって、知識を蓄え、多様な感じ方・考え方に触れ、自分の内面を確立していくことができます。グローバル化が進み、より多様な他者と分かち合いながら共に生きていくことが求められている現代において、他者理解、自己理解の一助になるのが、読書です。読書によって得られた知識や知恵は、個人の暮らしのみならず、地域社会をも豊かにする原動力になっています。

図書館は、読み聞かせ、学校や保育園との連携等の様々な児童サービスを通して、子どもたちに読書の楽しさを味わうことができる機会を提供し、未来のよき「読書人」を育てようとしています。この活動には、市内外のボランティア、読書推進団体、福祉施設、市民センター等の御協力を頂いています。読書習慣をもつ子ども達の育成は、考える市民を育てることにつながります。図書館資料の展示やレファレンスサービスを通して、考える市民を育成するための支援を行っています。

(2) 今後の方向性

人生100年時代といわれる現代社会において、生涯にわたる学びは必須のものとなっています。それらの生涯学習を支えるための社会教育機関として、資料・情報の提供、読書活動推進やレファレンスサービスの充実と周知を図ります。また、図書館には健康寿命を延ばす効果があるともいわれています。複合施設の中にある図書館ならではの取組を充実させ、健康寿命を延ばすために貢献します。

周辺施設で実施される講座やイベントに関連した資料の提供や企画展示、資料リスト作成などを通して、市民の体験の理解を深める読書や読書から発展する活動等につなげます。さらに、利用者の課題解決につながる講座も実施し、市民の考えるきっかけづくりを提供します。

(3) 取組の柱

ア 学校への支援

調べ学習用に必要な資料を収集し、学校へ提供します。

図書館見学、子ども司書、キャリアスタートの受入れを通して、図書館や読書への関心をもつ児童・生徒の育成に協力します。

昔話ボランティア、ブックトークボランティア等の派遣事業を継続します。

読書活動推進員研修への協力を継続・発展させます。

イ おはなし会や「子どもと本の講座」の開催

館内はもとより、美術ギャラリー、子育て支援スペース、市民センター、保育園などに出向く、おはなし会を継続します。

「子どもと本の講座」の開催により、保護者やボランティアの読書推進活動を支援します。

ウ テーマ展示とレファレンスの充実

市役所の各部署や企業・地域の各種団体と連携したテーマ展示、資料リストの作成、レファレンスを充実させることにより、地域課題について考える市民の支援につなげます。

エ 市民センターとの連携強化

団体貸出し、市民センター図書室にある古い資料の廃棄の支援、図書室ボランティア研修や企画展示の支援などを実施します。

各種講座に関連した出張貸出しや資料リストの作成を実施します。

貸出し・返却ポイントとなる市民センターを増やします。

オ 団体貸出しの周知

読書推進活動に賛同する団体に団体貸出しサービスの周知を充実させ、利用の拡大を図り、読書推進の裾野を広げます。

カ 講座の開催

健康、ビジネス、暮らし、多文化共生など幅広いテーマの講座や資料の探し方講座等を実施し、生涯学習の重要性や図書館の資料活用についての理解を促します。

(4) 成果指標・活動指標

指 標	現状（平成30年度）	目標値（令和11年度）
おはなし会の回数	延べ211回	延べ215回以上
団体貸出しを利用している市民センター数	5館	8館以上
講座の開催回数	5回	5回以上
レファレンス件数	3,244件	3,250件以上
学校へのボランティア派遣件数	23回	25回以上
市民がいつでも学べる環境づくりへの満足度が3ポイント以上の地域の数（まちづくり市民アンケート）	2地域	5地域

4 コミュニティの中核となる図書館

(1) 現状

図書館は、読書をきっかけとした地域のつながりを育てる役割も果たします。例えば、読書会などの行事は、読書体験の共有によって、楽しみながら他の参加者と交流できる機会です。

また、絵本の読み聞かせは、子どもの読書推進の取組であると同時に、保護者に対する子育て支援の側面も持っています。中でも、地域のボランティアによるおはなし会は、高齢者や子育て経験者等の力によって支えられています。おはなし会に参加するのは子どもたち、そして子育てに悩むことも多いと思われる保護者たちです。図書館は、こうした地域の世代間交流が自然にできる場となっています。

乳児の4ヵ月健診と同時に実施されるブックスタートも、読み聞かせによる家族のふれあいを提案するだけでなく、子育て世帯と地域の支援者をつなぐ場として重要なものです。

この他にも、幅広い分野の資料を備えている図書館は、地域のさまざまな活動を支援できる可能性を秘めています。各館がそれぞれ複合施設に配置されている利点を生かして、隣接する文化ホール、美術ギャラリー、市民センターの事業と連携したイベントの開催や資料展示を実施していることもその一例です。

少子高齢化や社会情勢の変化による不安に伴う多くの課題に対応するために、地域の支え合いはより重要になっています。情報と一緒に人々の集う機会も提供できる図書館には、現在の取組を維持するだけにとどまらず、より多角的に地域のコミュニティをつないでいく役割が求められています。

(2) 今後の方向性

人と人との集い、交流し、つながりをもてる、コミュニティの中核となる図書館を目指します。市民の意見を反映させるなど、市民とともに作っていく視点も大事にした講座やイベントの開催をはじめとして、「はつがいちアーカイブ」（仮称）の構築など、周辺施設や市役所各部署、企業、団体との連携を図りながら、コミュニティ活動支援の役割を果たせるような事業を実施します。本を通じて活動・交流が始まり、新たな出会いを発見できる図書館を目指します。

(3) 取組の柱

ア ブックスタート事業

乳児の4か月健診に合わせて、絵本をプレゼントし、絵本の読み聞かせによる家族のふれあいを提案します。地域のボランティアに協力していただくことで、子育て中の保護者が地域の支援者との接点をもつ機会も提供します。

イ 絵本サロンの実施

おはなし会の後に、妊婦や子育て中の保護者が互いに交流し、つながりをもてるような場を、子育て支援の部署と連携して用意します。

ウ 読書体験の交流の場づくり

利用者参加型の企画展示や、読書会、ビブリオバトル(知的書評合戦)、参加型ブックトークなどのイベントを実施して、利用者の読書体験の交流の場を作ります。また、図書館の資料を参考にして作った市民の作品発表の場を提供します。

周辺施設や企業、団体と連携して、読書から体験・活動につながるようなイベントを実施します。

エ 出張貸出「一箱図書館」の実施

体験から学びへの橋渡しとなることを目的とし、市民センターや他部署の実施する講座、教室等にコンテナ一箱程度の関連資料を持ち込み、その場で貸出しをする出張貸出しや資料リスト作成を実施し、市民活動のレベルアップを支援します。

オ 図書館ボランティアの発掘

図書館ボランティアの発掘を目的として、希望者に読み聞かせや音訳、配架や本の修理などを体験していただく機会を設けます。

カ はつかいちアーカイブの構築

古い写真や貴重な資料などをデジタル化し、図書館ホームページ上で公開する「はつかいちアーカイブ」の構築に取り組みます。その構築に当たっては、市民のアイデアを募るなど市民とともに作る視点を大事にします。

(4) 成果指標・活動指標

指 標	現状（平成30年度）	目標値（令和11年度）
イベントや講座の参加者数（おはなし会を含む）	延べ10,014人	10,100人以上

5 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館

(1) 現状

図書館が備えている様々な資料や情報は市民に利用されることによって価値を發揮します。市民が求めている情報により素早く、よりの確にたどり着くためのアクセス環境を整えることも、図書館の果たすべき使命といえます。そして、多くの情報があふれる現代社会において、アクセス環境の整備には、情報機器や電子資料の活用が欠かせなくなってきました。

従来どおりの図書館資料の提供に当たっても、資料の検索や予約、貸出し・返却などの手続をよりスムーズにするためのシステム改善が必要です。現在は図書館ホームページを通じて館外から蔵書検索や予約ができるシステムを提供していますが、来館者の予約やリクエストなどはまだ手書きの申込書で受付しているなどアナログ対応のみの手続も多く、さらなる利便性の向上が求められています。

また、デジタル情報へのアクセスということでは、利用者閲覧用のインターネット端末は各館にあります。持込みパソコンへの電源提供やフリーWi-Fiなど、より開かれたアクセス環境の構築は実現できていません。電子書籍や商用データベースの導入も今後の課題となっています。

(2) 今後の方向性

アナログとデジタルが程よくミックスされ、多様な情報へのアクセスが整備されている図書館を目指します。

情報のデジタル化に対応した資料の収集と提供に努めると同時に、業務の自動化や貸出し・返却ポイントの増加によって資料をより利用しやすい環境を作ります。

(3) 取組の柱

ア 図書館システムの更新

インターネットや館内OPAC（蔵書検索機）を利用した蔵書検索や予約システムの充実と利用者向けの講習会を開催します。

利用者自身が利用状況を確認できる機能を導入します。

イ デジタル情報へのアクセス環境の整備

館内へのフリーWi-Fi と電源提供席の設置、タブレット貸出しを導入します。

インターネット端末のフィルターの緩和をします。

商用データベースやデジタル書籍の導入とデジタル情報の利用講座の開催をします。

ウ 紙媒体の確定情報の提供や適切な情報を選び出すための支援

より確かな情報へつなげるために、情報選択の支援や関係窓口への案内などを含んだレファレンスの充実とその周知を図ります。

エ 返却ポイント、貸出しポイントの増設

市民センターの協力も仰ぎながら、予約本の受け取りや資料の返却が図書館以外の場所でもできるような環境整備を進めます。

オ 業務の自動化

予約システム利用のためのパスワード自動付与機能の導入、BDS（本の持ち出しを監視するシステム）とICタグによる自動貸出機・返却機の設置、予約確保や督促連絡の自動化などで業務の効率化を図り、職員がより専門的なレファレンス業務に注力できる環境整備を進めます。

（４）成果指標・活動指標

指 標	現状（平成30年度）	目標値（令和11年度）
貸出冊数（個人＋団体）	683,932 冊	700,000 冊以上
人口一人当たりの個人貸出数	5.5 冊	6.0 冊以上
予約資料が受け取れる市民センターの数	1 館	6 館以上
資料を返却できる市民センター等の数	1 館	全館

第5章 推進体制

1 基本計画推進のための役割分担と環境整備

市内3館それぞれの特長を生かした役割分担を明確にし、周辺施設等との連携も含めた総合力で、本計画に示す目指す姿を実現していきます。現在の各館それぞれの強みを活かしながらトータルとして目標に近づけるよう取組を進めます。

(1) 3館の役割分担

ア はつかいち市民図書館

はつかいち市民図書館は、行政機関や文化施設、商業施設が集積したシビックコア地域に位置し、交通アクセス等の利便性も優れている立地です。反面、複合施設の一角を占めていることから、図書館の専有面積は限られているため、滞在できるスペースは最小限に抑えられています。はつかいち市民図書館では、情報や資料の提供を中心として、滞在型利用のニーズについては周辺施設の活用で補完するサービス展開を検討する必要があります。

本館として、全体統括を図り、システムの一括管理、県立図書館や学校等との連絡調整、比較的専門的な資料整備や永年保存資料の保管などの役割を果たします。

また、市役所の各部署と連携しやすい地の利を生かして、行政支援を充実させ、行政と市民との橋渡し役を担います。

イ 大野図書館

大野図書館のある筏津地区公共施設再編基本計画では、体育館、市民センター、図書館の機能を集約し、子育て支援を充実させた複合施設を目指しています。図書館についても滞在型利用のニーズが高まっていることから、あらゆる世代や多様なニーズを抱えた利用者が心地よく滞在でき、子どもや子育てに優しい図書館を目指す必要があります。

また、市内5地域へのアクセスがしやすい地の利を生かし、移動図書館車の基地機能も継続します。

ウ さいき図書館

中山間地域振興の一翼を担う図書館として、佐伯地域、吉和地域の読書

推進活動を充実させます。また、中山間地域の交通結節点として整備されることによる新たな人の流れに即したサービスを提供します。

(2) 計画推進のための環境整備

ア 移動図書館車と遠隔地サービスの拡充

市内全域への公平なサービス実現のため、図書館から離れた地域への巡回を継続・発展させます。保育園への巡回を継続・発展させ、子育て支援に取り組みます。

あわせて、市民センターや小・中学校などと連携して、返却ポイント、貸出しポイントの増設を検討します。

イ 市内3館の連携体制の強化

市内3館のそれぞれの強みを生かし、一体となって図書館サービスの向上と、連携できる体制の維持発展を目指します。各館をネットワークでつなぎ、一体的なシステム運営を行い、基礎的なサービスは均一に提供し、不断にこれを見直すことで業務の効率化を図ります。図書館から離れた地域へも公平な図書館サービスを提供するよう、市民センター等との連携を強化します。

また、館長や担当者の会議を定期的で開催し、人事交流を図るなど、3館が同じように成長できる体制を整えます。

資料の発注段階で3館が密に情報交換を図ることにより、幅広い資料をそろえられるようにすると同時に、所有している資料については、より利用の見込める館への資料の使用替えなどを実施し、資料の有効活用を図ります。

ウ 利用者ニーズに基づく図書館運営

はつかいち市民図書館協議会を設置し、有識者の意見を尊重するとともに、図書館ボランティアや市民のニーズを的確に把握し、時代や地域の要請に即して、図書館を運営します。

また、協働する団体、ボランティア、市役所の各部署と協力し、利用者、地域とともに図書館を運営します。

エ 民間活力導入の検討

公立図書館としてのあるべき姿を見失わない、バランスの取れた運営になるよう、本来の役割は直営での実施を基本としつつ、自動化や、民間

の得意な分野では民間活力の導入も検討し、コストパフォーマンスの最大化と最適化を図ります。

(市の役割)

- ・ 図書館基本方針・基本計画の策定
- ・ 図書館協議会の運営

(図書館本来の役割)

- ・ 選書、発注、受入れ、除籍などの資料の収集保管と蔵書管理
- ・ レファレンス
- ・ 読書活動推進事業
- ・ 障がい者サービスの実施
- ・ 県立図書館、他の公共図書館、学校、市役所各部署との連携

(自動化導入を検討する業務)

- ・ 貸出し・返却・蔵書点検業務
- ・ 督促、予約確保の連絡業務
- ・ 予約受付業務

(民間活力の導入を検討するもの)

- ・ 施設管理と環境整備
- ・ システム管理
- ・ 移動図書館車、配送車の運転業務
- ・ 読書活動推進事業以外の講座やイベントの企画運営
- ・ 資料のデジタル化対応
- ・ くつろぎスペース、飲食スペースの管理、運営

なお、大野図書館の今後の管理運営については、筏津地区公共施設再編整備事業基本計画に沿って、複合施設を一体的に設計・建設・運営する民間事業者を募集中です。

2 計画の推進、点検、評価

図書館では、本計画の具体化に向けて、職員体制の充実を図るとともに、市役所の各部署を始め、ボランティア団体や、関係機関、他図書館などと連携しながら計画を推進します。

また、はつかいち市民図書館協議会において、計画の進捗状況や目標の設定、実現方法などについて意見を聞き、PDCAサイクルに沿って取組を進めていきます。利用者アンケート等を定期的の実施し、最新のニーズを把握し、時代の変化に即した計画するよう5年ごとに見直しを図ります。さらに点検・評価結果を公表することで、透明性を確保します。

参考

1 廿日市市図書館の設置目的と方針

(1) 図書館設置の目的

廿日市市の図書館は、市民の知る自由を保障する生涯学習機関です。

廿日市市の図書館は、資料及び情報を収集し、整理し、保存して、市民等に提供します。

廿日市市の図書館は、市民の教養、教育と文化の発展に寄与します。

(2) 運営方針

廿日市市の図書館は、市民の生涯にわたる学習と廿日市市の文化発展に寄与するため、利用者が求める多様な資料や情報を提供します。そして、あらゆる世代の生涯学習や課題解決を積極的に支援します。市民の日常生活に生きがいと豊かさをもたらす「市民に役立つ図書館」を目指し、次のような方針に基づき運営を行います。

ア 地域に根ざした図書館

市民の暮らしに役立つ資料、暮らしを豊かにする資料を収集し、提供します。

廿日市市の歴史・文化を伝えるため、郷土資料を収集・保存し、提供します。

イ 広く開かれた図書館

情報のセーフティネットの一翼を担えるよう、乳幼児から高齢者まで年齢を問わず、すべての市民にとって、利用しやすく、親しみやすい環境を整えます。また、障がい等で図書館を利用しづらい事情のある方も安心して利用できる場とサービスの提供に努めます。

ウ 子どものための図書館

未来に生きる子どもたちに豊かな読書環境を提供します。

子どもの読書活動を推進し、未来の良き読書人、考える市民を育てます。自ら情報を得て、自ら判断できる能力（リテラシー）を身につけられる読書環境を整えます。

エ 住民参加の図書館

はつかいち市民図書館協議会の活用や市民との対話を通して市民のニーズを的確に把握し、図書館サービスを充実させます。

また、ボランティアと協力して、市域全体の読書推進活動を支援します。

オ まちづくりに貢献する図書館

市役所の各部署や関係機関・団体と積極的に連携し、地域の課題解決に必要な資料や情報を提供します。

「協働のまち・はつかいち」を支援するための資料や情報を収集し、提供します。

カ 複合施設を生かす図書館

市内3館それぞれの立地を最大限に生かし、文化ホール等、他施設と連携したイベントを提供します。

(3) 人材育成方針

廿日市市の図書館が、地域に根ざし広く開かれた図書館として図書館サービスを提供していくためには、次のような図書館職員の能力が強く求められます。職場の実務を通じて行う職員の教育訓練や職場外研修による継続的な研修を実施するとともに、県立図書館研修への参加などをすすめ、長期的な視野に立った組織的な人材育成に努めます。

ア 専門的能力（選書、レファレンス、読み聞かせ、著作権への理解等）

イ 保育園・学校図書館支援、他機関との連携、市の方針の理解、市民との協働等を円滑に実施するための能力（調整、折衝、企画立案等の能力）

ウ 高度な情報リテラシー（情報検索・活用能力）

エ 情報通信技術に対応する能力

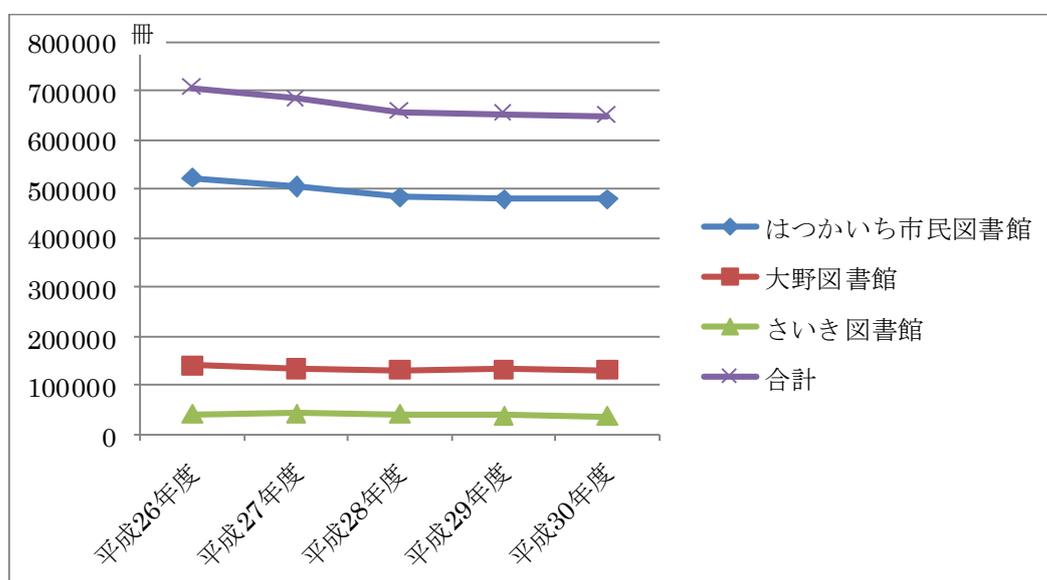
オ ハンディキャップ支援に関する知識理解と実践能力

2 サービスの現状

過去5年間の推移は次のとおりです。

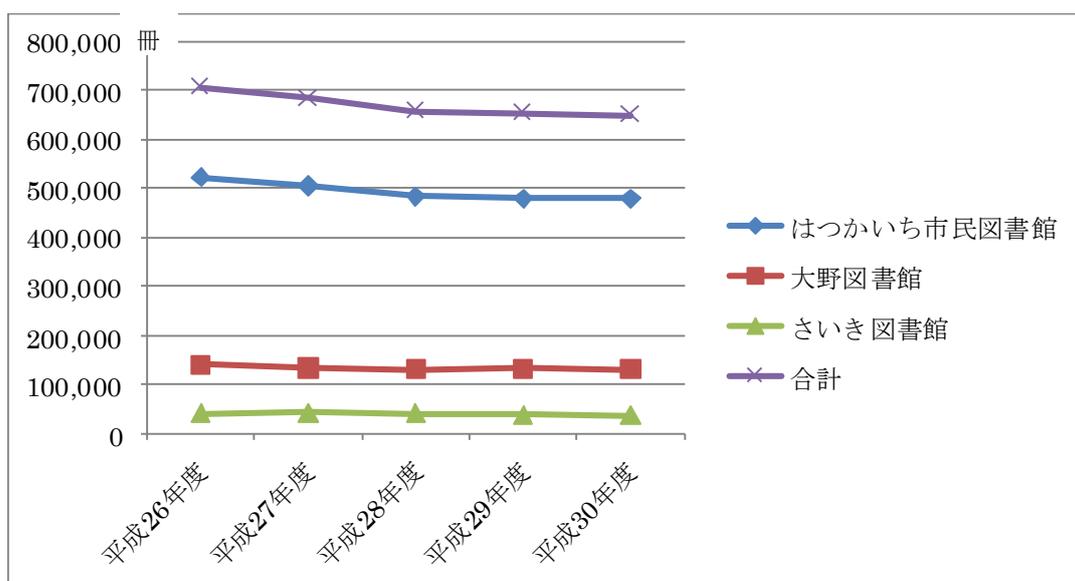
【個人貸出点数】 (冊)

館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	522,115	505,111	482,903	479,911	479,204
大野図書館	141,872	134,220	132,157	133,257	131,445
さいき図書館	41,840	44,094	42,527	39,273	38,644
合 計	705,827	683,425	657,587	652,441	649,293



【団体貸出点数】 (冊)

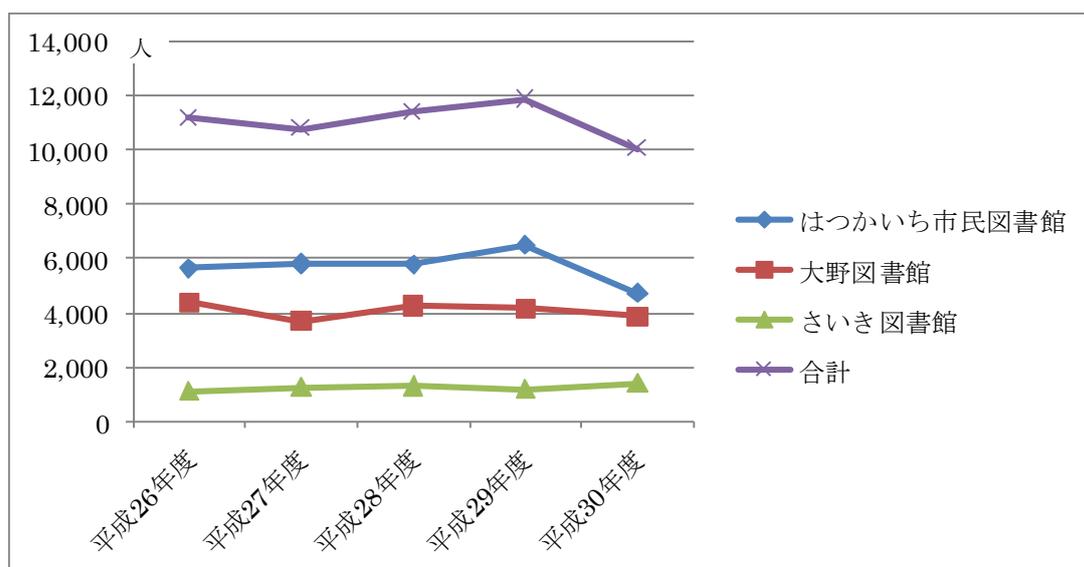
館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	14,705	11,915	13,059	13,375	12,496
大野図書館	23,430	20,306	19,555	18,107	18,472
さいき図書館	5,803	6,158	4,753	3,980	3,671
合 計	43,938	38,379	37,367	35,462	34,639



【講座やイベントの参加者数】 (おはなし会を含む)

(人)

館名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
はつかいち市民図書館	5,641	5,802	5,778	6,486	4,729
大野図書館	4,378	3,696	4,274	4,157	3,871
さいき図書館	1,130	1,262	1,331	1,199	1,414
合計	11,149	10,760	11,383	11,842	10,014



【備品購入費予算額】（図書+視聴覚資料）（千円）

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	9,861	9,751	9,721	10,545	10,145
大野図書館	6,090	4,972	4,271	6,512	6,811
さいき図書館	3,130	2,032	1,541	2,648	2,648
合 計	19,081	16,755	15,533	19,705	19,604

【図書受入れ冊数】（冊）

館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	5,909	6,530	6,231	7,248	7,361
大野図書館	3,932	3,309	2,912	3,378	4,216
さいき図書館	1,988	1,450	1,253	1,686	1,478
合 計	11,829	11,289	10,396	12,312	13,055

【図書購入冊数】（冊）

館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	4,875	5,296	5,094	5,891	5,547
大野図書館	3,183	2,683	2,304	2,847	3,559
さいき図書館	1,665	1,149	935	1,485	1,294
合 計	9,723	9,128	8,333	10,223	10,400

【開架冊数】（大野開架に移動図書館車、大野西市民センター含む）（冊）

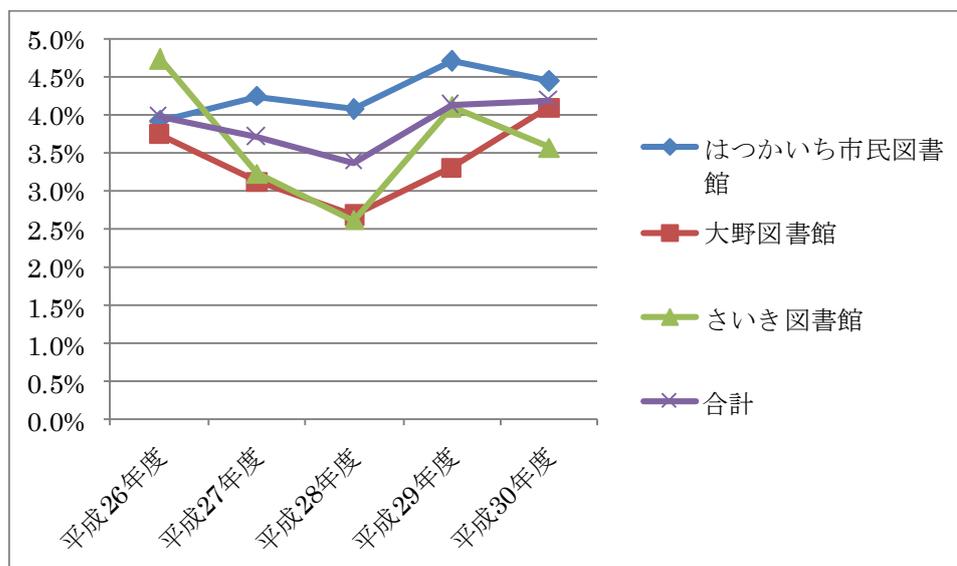
館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	124,299	125,049	125,234	125,241	125,108
大野図書館	85,199	86,051	86,012	86,266	87,002
さいき図書館	35,194	35,704	35,815	36,233	36,314
合 計	244,692	246,804	247,061	247,740	248,424

【蔵書新鮮度】（受入れ冊数/開架冊数）

館名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
はつかいち市民図書館	4.8%	5.2%	5.0%	5.8%	5.9%
大野図書館	4.6%	3.8%	3.4%	3.9%	4.8%
さいき図書館	5.6%	4.1%	3.5%	4.7%	4.1%
合計	4.8%	4.6%	4.2%	5.0%	5.3%

【蔵書新鮮度】（購入冊数/開架冊数）

館名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
はつかいち市民図書館	3.9%	4.2%	4.1%	4.7%	4.4%
大野図書館	3.7%	3.1%	2.7%	3.3%	4.1%
さいき図書館	4.7%	3.2%	2.6%	4.1%	3.6%
合計	4.0%	3.7%	3.4%	4.1%	4.2%



- ・貸出し点数は個人、団体ともに微減傾向にあります。
- ・講座やイベントの参加者数は、平成29年度がピークです。
- ・開架冊数は、収容限度をほぼ満たしており、横ばいです。
- ・蔵書新鮮度は減少傾向にありましたが、図書購入費が平成29年度に増額されたことから、少し改善しています。

3 意識調査

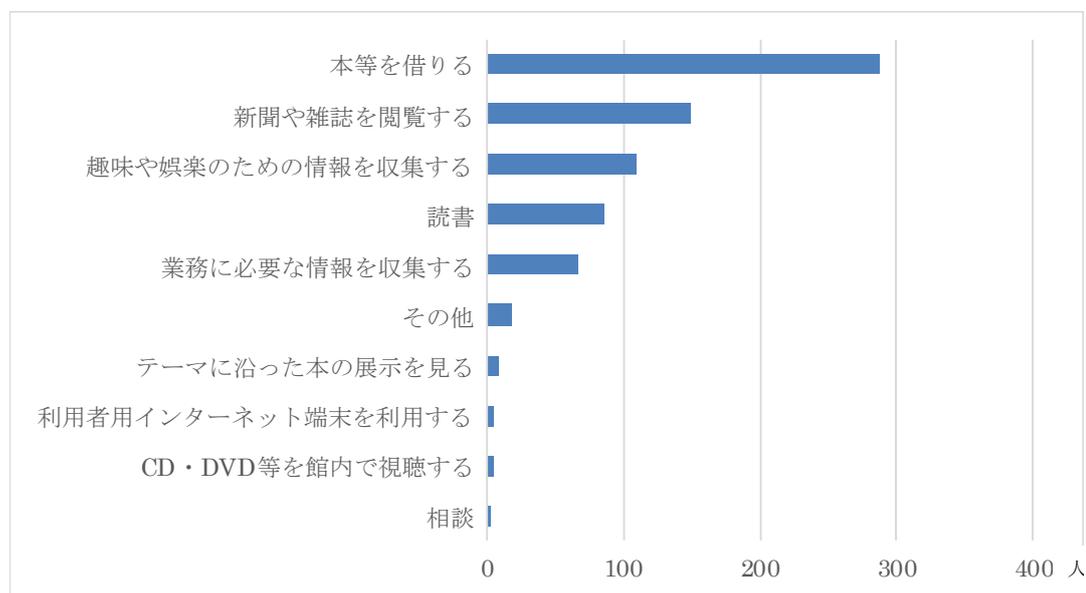
(1) 市職員の意識

平成30年6月に市の職員を対象にし、657人から回答を得たアンケート結果は次のとおりです。

ア 利用する図書館

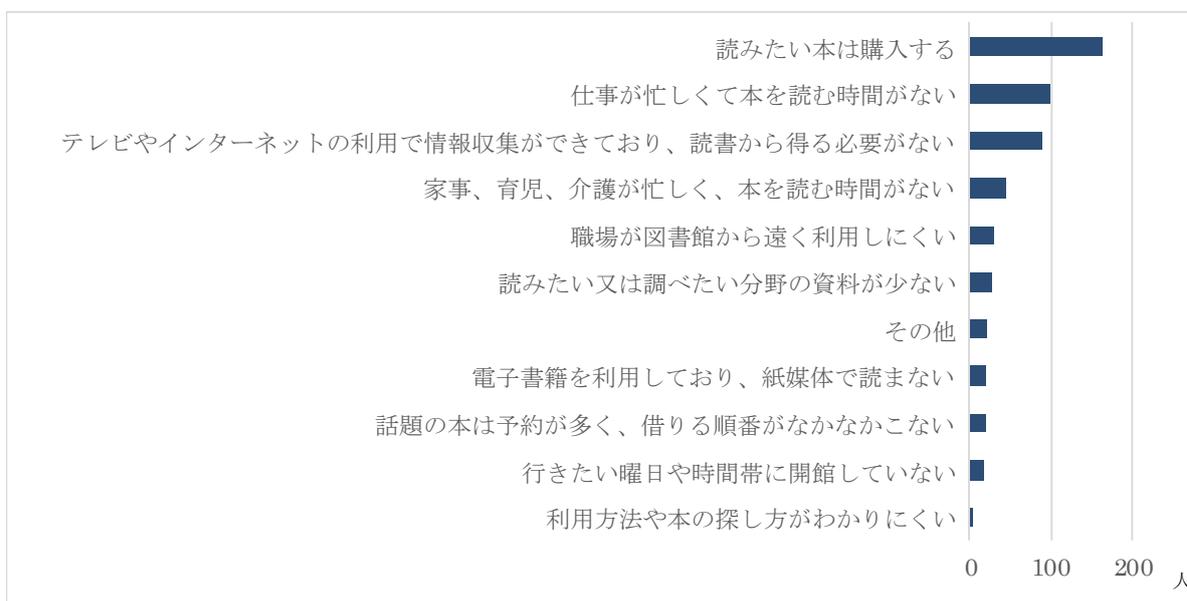
	(人)	(%)
はつかいち市民図書館	306	70.7
大野図書館	40	9.2
さいき図書館	25	5.8
大野西市民センター図書室	5	1.2
移動図書館車たんぽぽ号	7	1.6
その他の図書館（他市等）	46	10.6
記入なし	4	0.9

イ 利用目的



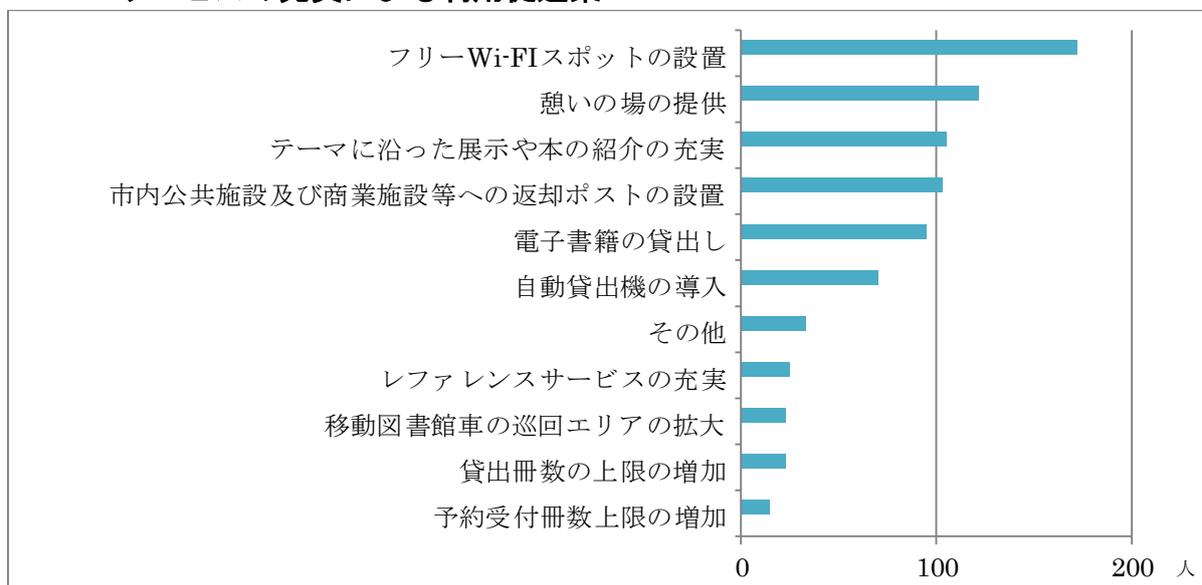
- ・主な利用目的は、「本等を借りる」「新聞や雑誌を閲覧する」「趣味や娯楽のための情報を収集する」「読書」「業務に必要な情報を収集する」となっています。

ウ 図書館を利用しない理由



- ・利用しない主な理由としては、「読みたい本は購入する」「仕事が忙しくて本を読む時間がない」「テレビやインターネットの利用で情報収集ができており、読書から得る必要がない」をあげている人が多くいました。

エ サービスの充実による利用促進案



- ・利用を促進するアイデアとしては、「資料の充実」「自習スペースの設置」「フリーWi-Fiスポットの設置」「憩いの場の提供」「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」「電子書籍の貸出し」「市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置」などがありました。

(2) 利用者の意識

平成30年7月に実施した来館者を対象とし、1,063人から回答を得たアンケートの結果は次のとおりです。

ア 利用者の居住区域

- ・はつかいち・さいき図書館は、設置地域に居住する人の回答が約7割となっています。
- ・はつかいち市民図書館では、広島市に居住する人の回答が約2割となっています。
- ・大野図書館は、設置地域に居住する人の回答が約8割となっています。
- ・吉和・宮島地域の人の回答はほとんどありません。

イ 利用状況について

<利用回数>

- ・利用頻度は各館ともに「月2回程度」が一番多く4割です。
- ・利用頻度は3館合計で、「月に1回以上」の合計が9割を超えています。
- ・「月に2回程度以上の頻度で利用する」と回答した人が全体で8割と多いのは、利用目的で「本を借りる」と答えた人が5割であったことと合わせると、2週間の貸出期間との関係があると推察されます。

<週2回から月1回と回答した方に。この図書館をよく利用する曜日は？>

- ・全体の4分の1以上が「特に決まっていない」と回答しています。
- ・平日利用の利用割合を土・日・祝日と比較すると、はつかいち市民図書館とさいき図書館は、20ポイント程度上回っていますが、大野図書館は0.2ポイント上回っているだけで、余り差がありません。

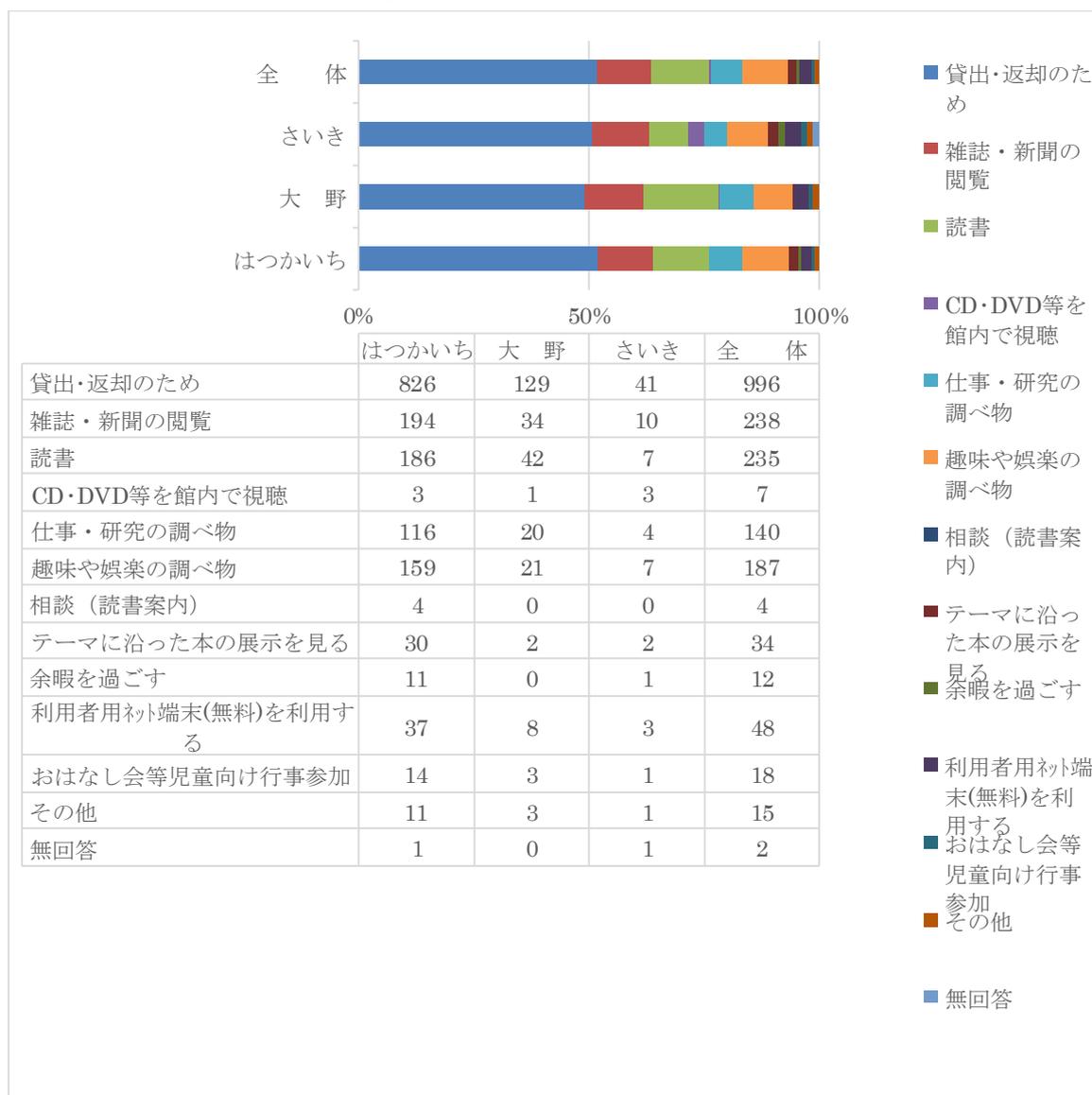
<時間帯>

- ・全体では開館～12時の利用が約4割、13時～15時が2割、15時～17時が2割弱となっています。17時以降の利用は、さいきが1割と最も多く、はつかいちが6.6%、大野が2.8%という回答です。

<1回あたりの滞在時間>

- ・図書館に滞在している時間は、47.4%が「30分から1時間未満」と回答しており、「1時間以上」と回答した人は全体の15%です。

<利用目的（3つまで回答可）>



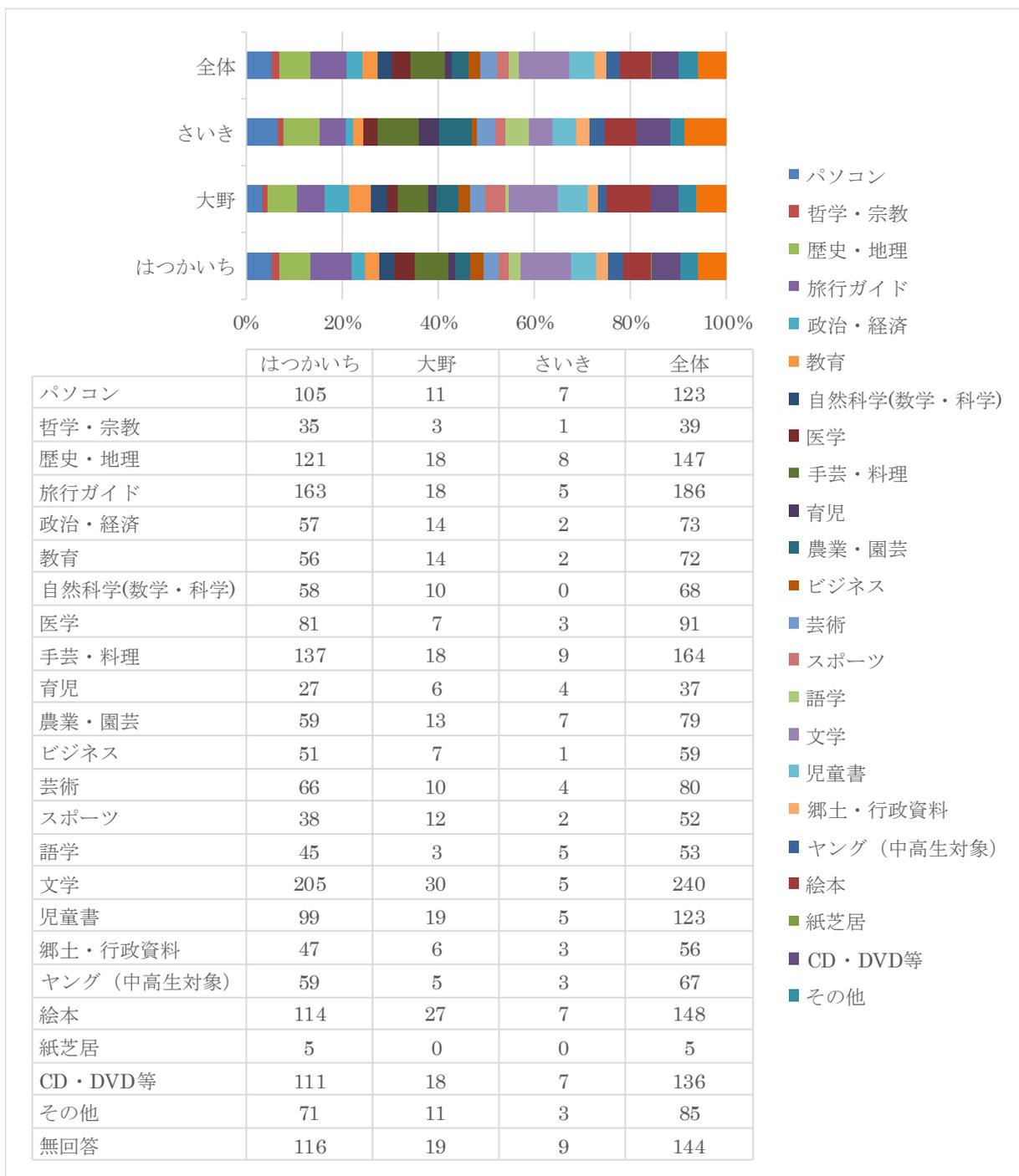
- ・利用目的は、「貸出し・返却」が51.4%。次いで、「雑誌・新聞の閲覧」12.3%、「読書」12.1%と続きます。3つまで回答可能としていましたが、「相談（読書案内）」を目的とする人は少なく、はつかいちの0.4%にとどまります。
- ・回答の多い順の4位・5位には、「趣味や娯楽の調べ物」「仕事・研究の調べ物」があがっており、暮らしに役立つ資料への要求や期待度は高いことが確認できます。

<インターネット予約・検索>

- ・インターネットでの予約・検索について、利用している人が36.1%、知らなかった人が23.6%、知っていたが利用していない人が31.7%という結果でした。

- ・このサービスは全体の67.8%の人が知っており、知っている人の過半数がサービスを利用しています。サービス自体を知らない人は23.6%でした。

〈充実の必要な資料について〉



- ・充実を望む図書の上位3つは、「文学」10.3%、「旅行ガイド」8%、「手芸・料理」7%となっています。

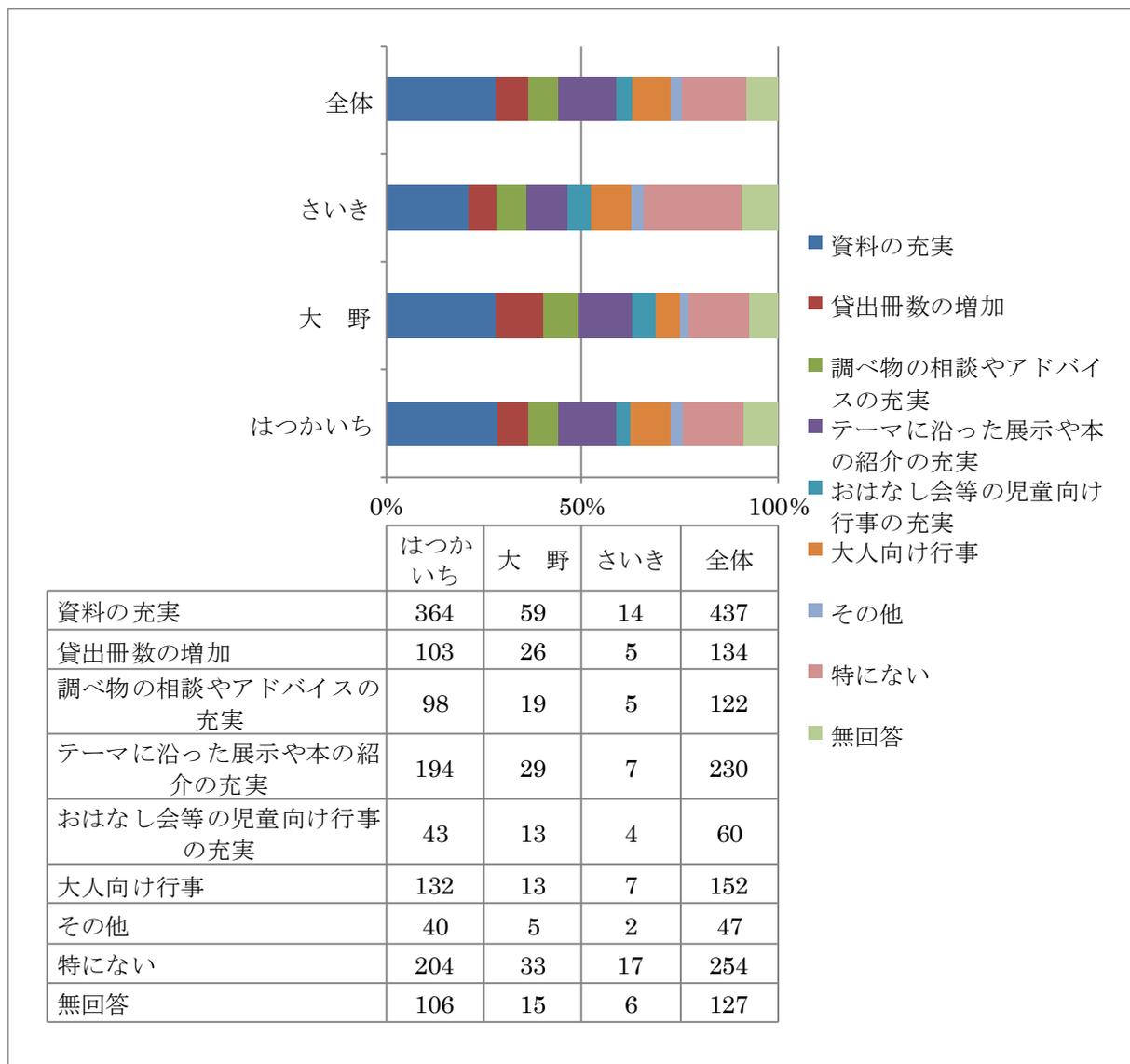
- ・CD・DVDの充実を望む声も5.8%と高くなっています。
- ・自由記述を見ると、「最新情報が載った専門書や実用書」「新しい本」「流行の本」の要望が多くなっています。新しい本は購入後予約が殺到するものもあり、利用者に貸し出されるのに日数を要するものも多いため、来館者は実際よりも蔵書新鮮度を低く感じている可能性があります。
- ・所蔵資料についての自由記述で目立つ意見が「DVD、CDが古い・資料自体が少ない」というもので、資料の充実の要望が多くなりました。その一方で「DVD・CDは利用しない」という回答も多いので、図書資料の充実に重点を置きながら、視聴覚資料の充実も進める必要があります。

ウ 満足度について

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
職員の対応	72.2%	19.9%	1.0%	0.2%	6.6%
開館日	75.7%	16.1%	1.0%	0.3%	6.9%
開館時間	67.3%	18.1%	6.8%	0.9%	7.0%
目的の本の探しやすさ	42.5%	39.4%	9.1%	0.7%	8.3%
本の種類や数	27.1%	45.8%	15.4%	1.5%	10.2%
雑誌及び新聞の種類や数	35.5%	38.2%	9.1%	0.9%	16.3%
CD及びDVD等の種類や数	19.5%	27.7%	19.8%	4.8%	28.2%

- ・職員の対応については、「満足」「やや満足」をあわせだいたい92.1%です。
自由記述でも、「親切・丁寧・やさしい」という記述が多くなっています。
- ・開館日については91.8%、開館時間については85.4%の人が満足していると回答しています。自由記述を見ると、どの館でも、土・日・祝日も含めて9:00~19:00まで開けてほしいという要望が寄せられています。
- ・資料の探しやすさなどは81.9%の人がだいたい満足と回答していますが、はつかいちでは、「やや不満」「不満」と答えた人が10%と、他館よりも多い傾向がありました。
- ・所蔵資料の種類と数量について、「やや不満」「不満」と答えた人は、はつかいち16.7%、大野22%、さいき6%とばらつきがあります。「満足」「やや満足」と答えた人は約73%でしたが、「満足」と答えた割合は27.1%と低くなっています。
- ・雑誌・新聞の種類と数量について、「やや不満」「不満」と答えた人は、はつかいちが9.7%、大野が13.4%、さいきが2.1%でした。さいきの満足度は88%で充実していると感じている人が多くなっていますが、全体の「やや満足」「満足」は74%でした。
- ・CD及びDVDなどの種類と数量については、各館とも、「やや不満」「不満」の合計が24.6%、「満足」「やや満足」は47.2%で図書館の所蔵資料の中で一番満足度が低いことが分かります。

エ サービスへの要望



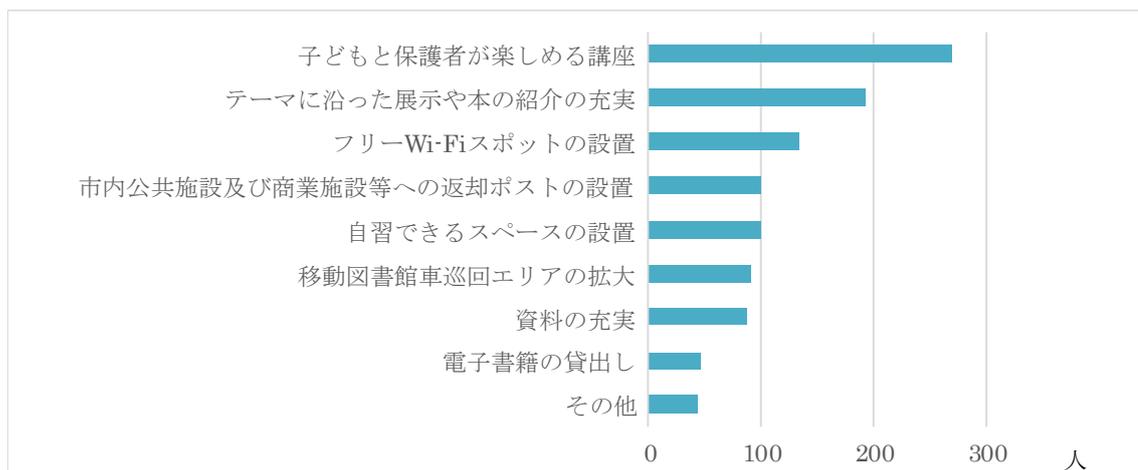
- ・要望の上位には、「資料の充実」28%、「テーマに沿った展示や本の紹介の充実」14.7%、「大人向け行事」9.7%の順に多くなっています。
- ・自由記述では、「ゆったりと読書をするスペースの拡大」「貸出期間を3週間にしてほしい」「貸出冊数を10冊にしてほしい」という意見がありました。

(3) 市民の意識

令和元年6月から7月に実施したアンケートの結果は次のとおりです。

ア 未就学児の保護者の意識（回答628人）

【どんなサービスが充実したら利用しますか？】



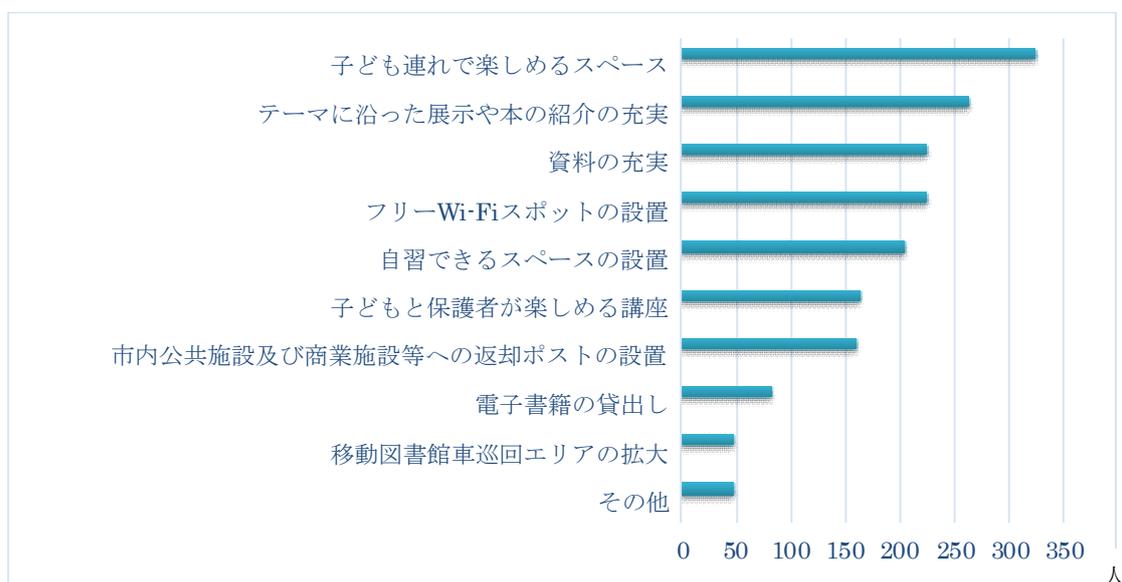
	件数	%
1 資料の充実	87	5.8%
2 子どもと保護者が楽しめる講座	269	18.0%
3 テーマに沿った展示や本の紹介の充実	192	12.9%
4 子ども連れで楽しめるスペース	431	28.9%
5 フリーWi-Fiスポットの設置	134	9.0%
6 自習できるスペースの設置	99	6.6%
7 市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置	99	6.6%
8 移動図書館車巡回エリアの拡大	91	6.1%
9 電子書籍の貸出し	45	3.0%
10 その他	44	3.0%
無回答	0	0.0%
計	1491	100%

【ふさわしい基本理念は？】

	件数	%
1 本とつながり、人とつながる図書館	83	13.3%
2 よく学び、よく考え、よく生きる～ゆたかな明日へのかけはしになる図書館	111	17.8%
3 心地よく過ごせる場所～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～	428	68.8%
無回答	0	0.0%
計	622	100%

イ 小学生の保護者の意識（回答1，764人）

【どんなサービスが充実したら利用したくなりますか？】



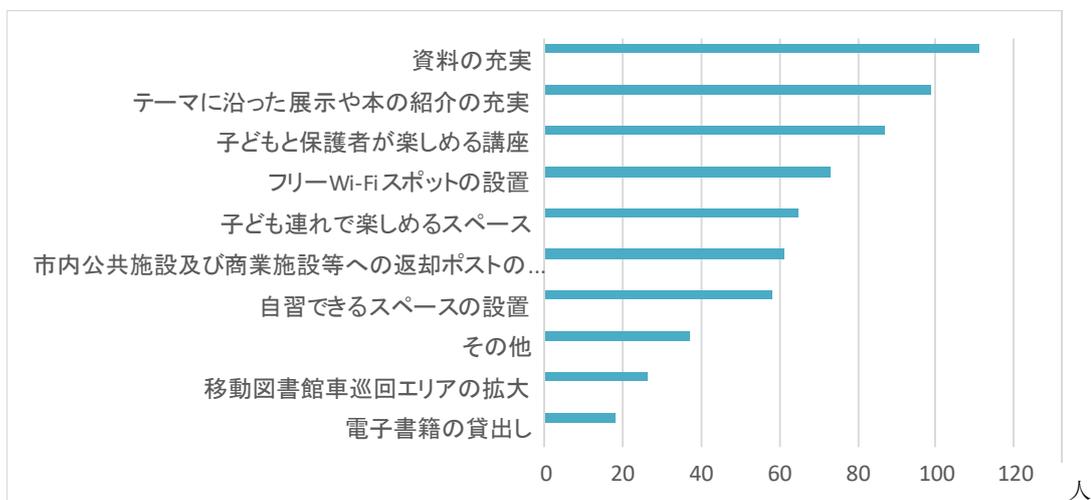
	件数	%
1 資料の充実	224	12.9%
2 子どもと保護者が楽しめる講座	164	9.4%
3 テーマに沿った展示や本の紹介の充実	263	15.1%
4 子ども連れで楽しめるスペース	324	18.6%
5 フリーWi-Fiスポットの設置	224	12.9%
6 自習できるスペースの設置	203	11.7%
7 市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置	160	9.2%
8 移動図書館車巡回エリアの拡大	47	2.7%
9 電子書籍の貸出し	82	4.7%
10 その他	47	2.7%
無回答	0	0.0%
計	1,738	100%

【ふさわしい基本理念は？】

	件数	%
1 本とつながり、人とつながる図書館	107	12.4%
2 よく学び、よく考え、よく生きる～ゆたかな明日へのかけはしになる図書館	155	18.0%
3 心地よく過ごせる場所～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～	600	69.6%
無回答	0	0.0%
計	862	100%

ウ 市民センター利用者の意識（回答501人）

【どんなサービスが充実したら利用したくなりますか？】



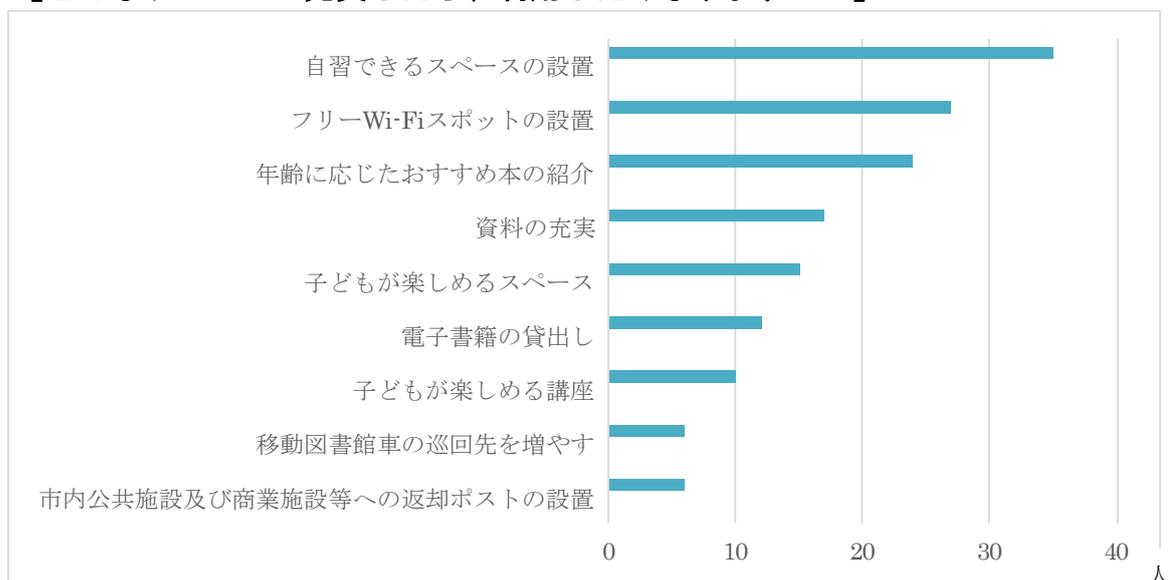
	件数	%
1 資料の充実	111	17.5%
2 子どもと保護者が楽しめる講座	87	13.7%
3 テーマに沿った展示や本の紹介の充実	99	15.6%
4 子ども連れで楽しめるスペース	65	10.2%
5 フリーWi-Fiスポットの設置	73	11.5%
6 自習できるスペースの設置	58	9.1%
7 市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置	61	9.6%
8 移動図書館車巡回エリアの拡大	26	4.1%
9 電子書籍の貸出し	18	2.8%
10 その他	37	5.8%
無回答	0	0.0%
計	635	100%

【ふさわしい基本理念は？】

	件数	%
1 本とつながり、人とつながる図書館	91	22.4%
2 よく学び、よく考え、よく生きる～ゆたかな明日へのかけはしになる図書館	73	17.9%
3 心地よく過ごせる場所～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～	242	59.5%
無回答	0	0.0%
計	406	100%

エ 小中学生の意識（回答70人）

【どんなサービスが充実したら、利用したくなりますか？】



	件数	%
1 資料の充実	17	11.2%
2 子どもが楽しめる講座	10	6.6%
3 年齢に応じたおすすめ本の紹介	24	15.8%
4 子どもが楽しめるスペース	15	9.9%
5 フリーWi-Fiスポットの設置	27	17.8%
6 自習できるスペースの設置	35	23.0%
7 市内公共施設及び商業施設等への返却ポストの設置	6	3.9%
8 移動図書館車の巡回先を増やす	6	3.9%
9 電子書籍の貸出し	12	7.9%
10 その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	152	100%

【ふさわしい基本理念は？】

	件数	%
1 本とつながり、人とつながる図書館	20	29.0%
2 よく学び、よく考え、よく生きる～ゆたかな明日へのかけはしになる図書館	18	26.1%
3 心地よく過ごせる場所～行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ～	31	44.9%
無回答	0	0.0%
計	69	100%

廿日市市図書館基本計画

令和 年 月

はつかいち市民図書館

738-8501

広島県廿日市市下平良一丁目 11 番 1 号